

平成 27 年度第 1 回 沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日 時]平成 27 年 4 月 14 日 (火) 19:10~22:20

[場 所]琉球大学医学部附属病院・がんセンター

[参加者 12 人]笹良剛史 (友愛会南部病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、喜納三津男 (きなクリニック)、比嘉宇郎 (北部地区医師会病院)、垣花真紀子 (宮古病院) skype 参加、栗山登至 (嬉野が丘サマリヤ人病院)、川田聡 (南部医療センター)、親泊美香 (ちばなクリニック点滴センター)、新屋洋平 (中部病院)、崎枝久美 (一日橋ケアセンター)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院) 増田昌人 (琉大病院がんセンター)

[欠席者 6 人]福地泉 (アドベンチストメディカルセンター)、伊藤昌徳 (エムシーマーケティング株式会社)、尾崎信弘 (八重山病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、笠原大吾 (福寿薬局)、棚原陽子 (琉大病院)、

[陪席者 6 人]新里誠一郎 (浦添総合病院)、金城孝郎 (那覇市立病院)、井岡亜希子 (琉大病院がんセンター)、屋良看護師 (中部病院)、津嘉山看護師 (ちばなクリニック)、下地亜樹絵 (琉大病院がんセンター)

< 報告事項 >

1. 自己紹介について

- ・ 棚原委員より琉大の緩和ケアチームの専従看護師が 3 人になったとの報告があり、専従看護師の伊波華看護師より自己紹介があった。
- ・ 資料 4 に基づき、平成 27 年度緩和ケア部会委員で自己紹介を行った。
- ・ 那覇市立病院金城さんより今年の 11 月に開催される「がんリハビリテーション研修会」のアナウンスとその研修会に参加されると算定が取れるので参加して欲しいとの協力依頼があった。
- ・ 増田委員より、今年度は沖縄県から琉大あてに第二次がん計画の中間評価をする事になったため、大阪府立成人病院より井岡亜希子医師が赴任してきたとの紹介があった。井岡医師より今後、第二次がん計画の中間評価業務を中心に、がん対策に取り組んでいきたいとの報告があった。

2. 平成 26 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨について

資料 1 に基づき、増田委員より平成 27 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨について報告があり承認された。

3. 第 3 回緩和ケアフォローアップ研修会の報告について

資料 2 に基づき、増田委員より平成 27 年 3 月 7 日 (土) に開催された緩和ケアフォローアップ研修会の報告があった。栗山委員より、参加者の意識が高く熱心であり、とても好評だったとの総評があった。

4. 精神科医師の選考について

これまでの協議事項で緩和ケア部会に精神科医を委嘱する事について協議されていたが空席のままであった。資料 3 に基づき、増田委員より沖縄県がん診療連携協議会議長名で南部医療センターの精神科医へ委嘱依頼状を送付し、川田委員が緩和ケア部会委員になる事が承認されたとの報告があった。

<協議事項>

1.平成 27 年度の部会長・副部会長及び部会委員について

資料 4 に基づき、増田委員より部会委員の任期は 1 年、毎年更新していくとの報告があった。今年度の部会長は、友愛会南部病院・笹良剛史先生が再任、副部会長には、中部病院・新屋洋平先生、嬉野が丘サマリヤ人病院・栗山登至先生が選ばれた。

2. 平成 27 年度ロジックモデルと事業計画、予算について

増田委員より資料 5 に基づき、ロジックモデルの説明があった。施策10.まで計画を立てていて終わっているものと終わっていないものがあり、終わっていないものが今年度の事業計画になるとの報告があった。資料 6 に基づき、本年度の予算は昨年と同じ予算で立てているとの報告があった。

3. 平成 27 年度沖縄県緩和ケア研修会開催について

沖縄県は今年度から新カリキュラムで開催する事が決定しているが、4 月現在緩和医療学会より運営、進行、プログラムが出てないため、後日（4 月 23 日）開催病院の研修会に参加した医師が集まり、作成する事になった。

中部病院から開催日程の変更があった。

4. 平成 27 年度の緩和ケアフォローアップ研修会について

評判のよい研修会の為今年度も開催する事で決定された。また、場所についても毎年県医師会館で開催しているが、てだこホールで開催すればもっと多くの参加者がくるのではないかと協議された。開催日時については今後決定次第、メールにて周知する事になった。

候補日①：2 月 7 日（日）

②：2 月 21 日（日）

③：2 月 28 日（日）

5. 「第二次沖縄県がん対策推進計画の中間評価」における緩和ケア関連領域とその目標指数の選定について

資料 8 に基づき、井岡先生が作成した緩和ケア推進 4 種類を合わせたたたき台をもとに、中間アウトカム、分野アウトカムの方向性について議論が行われた。

緩和ケア分野アウトカムは「がん患者とその家族ががんと診断された時から質の高い緩和ケアを受け、療養生活に満足している」となった。

中間アウトカムは「患者や家族が緩和ケアに関する知識や情報を持っている」「基本的な緩和ケアを実践できる人材がいる」「患者の状態や希望に応じて切れ目ない連携体制が整備されている」

これを基に、4 月 29 日開催のがん計画中間評価WGで作成し、後日メールで送信する事になった。

6. 痛みのスクリーニング及び除痛率の測定について

除痛率は琉大病院がセーフマスタのシステムを用いて実践されている。豊見城中央病院も i pad を使用していくための起案をしている所である。中部病院は今後電子カルテを導入していく予定だが、除痛率のシステムを入れていくかは未定である。

7. 沖縄がんサポートハンドブック 2015 年度版に緩和ケア普及啓発のためのリーフレット等を差し込む事について

資料 9 に基づき、がん診療主要病院で、リーフレットに「緩和ケアってしていますか」を挟んでもらい、普及啓発してもらう事になった。

8. 緩和ケア研修会修了者を患者とその家族に対して分かり易く情報提供することについて

がん診療連携拠点病院の義務として、・緩和ケア研修会修了者がピンバッジをつける事、HP に緩和ケア修了者名簿を載せること、正面玄関に緩和ケア研修会修了者名簿を掲示すること、全外来及び全病棟に緩和ケア研修会名簿を掲示すること。琉大病院では、緩和ケア研修会修了者名簿を A3 にし掲示する予定である。

9. 平成 27 年度の現況報告書の作成について

緩和ケアの部分のハードルが高いので意識して準備する必要があると協議された。

10. 次回の緩和ケア部会開催日程について

第一候補は平成 27 年 7 月 14 日（火）19:00～ となった。

11. その他

笹良部会長より、平成 27 年 11 月 14 日・15 日にリレー・フォー・ライフ沖縄うらそえが開催されるとの周知があった。

平成 27 年度第 2 回 沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日 時]平成 27 年 7 月 7 日 (火) 19:20~22:30

[場 所]琉球大学医学部附属病院・がんセンター

[参加者 13 名]笹良剛史 (南部病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、伊藤昌徳 (エムシーマーケティング株式会社) Skype 参加、大湾勤子 (沖縄病院)、尾崎信弘 (八重山病院)、栗山登至 (サマリヤ人病院)、新屋洋平 (中部病院)、川田聡 (南部医療センター・こども医療センター)、垣花真紀子 (宮古病院) skype 参加、親泊美香 (ちばなクリニック点滴センター)、友利健彦 (沖縄赤十字病院)、多和田慎子 (琉大病院)、増田昌人 (琉大病院がんセンター)

[欠席者 7 名]喜納三津男 (きなクリニック)、比嘉宇郎 (北部地区医師会病院)、笠原大吾 (福寿薬局)、島袋恭子 (那覇市立病院)、福地泉 (アドバンストメディカルセンター)、棚原陽子 (琉大病院)、崎枝久美 (一日橋ケアセンター)

[陪席者 3 名]井岡亜希子 (琉大病院がんセンター)、津嘉山看護師 (ちばなクリニック点滴センター)、下地亜樹絵 (琉大病院がんセンター)

< 報告事項 >

1. 平成 27 年度第 1 回緩和ケア部会議事要旨について

資料 1 に基づき、平成 27 年度第 1 回緩和ケア部会議事要旨の報告があり増田委員より承認された。

2. 第 1 回、第 2 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議について (平成 25 年度、平成 26 年度)

資料 2、3 に基づき、増田委員より報告があった。平成 25 年に緩和ケア部会が発足し第 1 回には、笹良部会長、増田委員、棚原委員が参加し、第 2 回には、増田委員、棚原委員、中村医師が参加した。緩和ケアに関連する取り組みや、緩和ケアに関連する事務連絡について、平成 28 年 6 月から基本計画の見直しにむけた検討会が始まっており、平成 29 年 6 月までにがん対策推進協議会における基本計画の見直しをしていくとの報告があった。

3. 第 8 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議について

資料 3 に基づき、増田委員より報告があった。平成 27 年 7 月 3 日に国立がん研究センターで開催され増田委員、琉大総務課長が参加した。事前アンケートの報告、2 県の PDCA サイクルの取り組みの紹介等。6 月に開催されたがんサミットでのがん対策加速化プランや中間評価について、またがん診療連携拠点病院等の指定の経過措置について、新モジュールに伴う緩和ケア研修会についての報告があった。

4. 平成 27 年度第 1 回の場班について

笹良部会長より報告があった。疼痛スクリーニングを行う事が義務化され、除痛率の指標をだしながら、全てのがん患者の痛みを毎日評価する事を目標としていく。各施設での進捗状況の報告、スパークスの好事例や、沖縄からは琉大、豊見城中央病院の進捗状況、中部病院、那覇市立病院の資料を提出したとの報告があった。

5. 琉大主催緩和ケア研修会の報告について

資料 7 に基づき、増田委員より報告があった。琉大病院の麻酔科准教授中村医師を中心とし、6 月 28 日、7 月 5 日に琉球大学研究者交流施設・50 周年記念館にて開催された。協力者 33 名、受講修了者数は、医師その他を含む 18 名であった。今年度より新モジュールでの開催でありプログラム作成や時間調整等に苦労があったが延長することなく無事に終わった。

6. 沖縄緩和ケア研究会の報告について

増田委員より報告があった。6 月 5 日 (金) に沖縄県医師会にて塩野義製薬主催の講演会が開催され

た。アドバンス・ケア・プランニングについて、神戸大学の木澤義之先生を講師に講演された。

また、琉大の ACP の進め方の現状の報告もあった。

7. 平成 27 年度部会委員について

資料 8 に基づき、笹良先生より報告があった。沖縄赤十字病院外科の友利健彦先生と琉大病院緩和ケアセンタージェネラルマネージャーの多和田慎子さんが、新たに部会委員となった。

協議事項：

1. 「第二次沖縄県がん対策推進計画の中間評価」における緩和ケア関連領域とその目標指数の選定について

中間アウトカムと分野アウトカムについては前回協議されたが、それを基に秋以降に予定しているアンケート調査の内容特に患者向けの内容についての指標について議論された。分野アウトカムの指標としては満足度を聞くとの事で承認された。中間アウトカムの指標としては外来患者と入院患者ではスクリーニングの方法を変えた方がよいと協議された。(外来→前日・全例スクリーニングを行う。入院→身体的痛みに限って全日・全例でスクリーニングを行う) 施策、アクションについては次回の部会に持ち越す事となった。

2. 平成 27 年度沖縄県緩和ケア研修会日程について

今後開催される残り 6 施設の日程の確認と講師の依頼について協議され、確認後メールで連絡する事で承認された。また、講師やファシリテーターの一覧をプールしておいた方がいいのか協議された。

3. 平成 27 年度沖縄県緩和ケアフォローアップ研修会開催について

今年度の開催について協議された。平成 28 年 2 月 21 日 (日)、2 月 28 日 (日) のいずれかの日程で開催する事が承認された。次回の部会ではプログラムを作成する。

4. 拠点病院・診療病院及び支援病院の患者に痛みのスクリーニングを行う事について

琉大病院は入院患者のスクリーニングに関しては取組を強化しているが、外来では一部で開始されたが現在はとまっている状況である。増田委員より今年度中に拠点病院、診療病院、支援病院でスクリーニングを開始してはどうかと協議された。運用しようとしているが、まだ紙カルテであったり、どこが中心となってやるか誰が中心となってやるか等問題が提示された。琉大での例を後日メールで添付する事になった。

5. 除痛率の測定と改善について

除痛率を測定するにあたり、日々のスクリーニングが大事になっていく。全病棟では無理でも一病棟でのスクリーニングから始め除痛率を測定していく事がいいのではないかと協議された。

まら、今後は的場システムを取り入れ、足並みをそろえて沖縄県全体でやっていく方向性がいいのではないかと協議された。

6. 沖縄がんサポートハンドブック 2015 年度版に緩和ケア普及啓発のためのリーフレットなどを差し込むことについて

各施設で普及啓発を行い、また今年度は緩和ケア研修会でもアナウンスをしていく事が承認された。

7. 緩和ケア研修会修了者を患者とその家族に対して分かり易く情報提供することについて

ポスター掲示、緩和ケア研修会修了者名簿を正面玄関に貼り出すことで承認された。またバッジの着用も促された。

8. がん診療連携に携わる医師に対する緩和ケア研修会研修完了に向けた取り組みについて

資料 14 に基づいて、琉大病院、中部病院、那覇市立病院の計画書が協議された。3 病院とも平成 2

9年3月31日までに受講完了者を90%以上に設定しているので、今後も受講を促していく事で承認された。

9. 平成27年度の現状報告書の作成について

がん診療連携拠点病院の更新の際に、指定要件を1つでも満たせていなければ更新できない。今年の9月に現況調査があるので慎重に作成していく必要があると協議された。

10. 次回の緩和ケア部会開催日程について

10月6日(火)、10月20日(火)のいずれかで開催する事が承認された。